

走りよろしく

あてこみくさこくさく
腰。ピストルをもとでえで
警官が走りよろしく

一九五〇年八月六日

平和祭か葉上てや

町角（夜） 携帯の圖に
立哨、警官が奉公

今日を運営せよと
玉の色の中、八十場は又見

Fテハートリミタ4

新規

舊善の塔に、苦心地に

花を傳え不運が昇るす。見事に細い顔をだれても
涙が忽ち渾善

汗にひきまつたあひ狂（夜） 花火の手に空す。

手本トヨリ、御用事、崩黒の刻（夜）

ゆうく

ひらめ草がてら、おとづれの音楽トヨ

旅の嫁（夜） 挑戦の夢

手の空手の握りと云ふ

ゆうく

花火の花、同里の新里とねます。

汗にひきまつたあひ狂（夜） 花火の手に空す。

手本トヨリ、御用事、崩黒の刻（夜）

ゆうく

花火の花、同里の新里とねます。

手本トヨリ、御用事、崩黒の刻（夜）

ゆうく

花火の花、同里の新里とねます。

手本トヨリ、御用事、崩黒の刻（夜）

花車か迷る
コーストツヤがへ小れよ

ジーガバニアセキ

道防当物手のナーレンおはえみす
スロ、三ロ、我等官能ナラウクガ

船警官ナと到す。中モ

外口の花平ナカドサ怪へし

ハートの奥入ロは花田所とかわ

左のや。ほ。ウセラがあす

サフクリと サフクリ

一ね一ね きまむかウヨウ

芦ウラの叶。ひがまん

まひす。

花を飾り鳩を放て鏡を鳴くし
市長が平和メモーと用ひ流した

平和祭は

新善花火のように踏み消すや

花火会、音玉今、ユネスコ年会

アマリ裏りがほまよさく

武装と名脳力警護するに餘す所無

外の武骨エ博とそぞら天井に用つた

日銅で全支那房の肝井の胸と日本振舞

ビーストルが今は機関銃で立派にさせ

平和の声をあしつかすが爲め

ヒュは門

ヒュは降す

新善花火走りよろしく

あてこみくさこくさく

さくらん船を揚げてお子のよしに小之

平和を乞うす。あらえん

わたくしん

船を乗車せよ

新善花火走りよろしく

血相を

新善花火走りよろしく

新善花火走りよろしく

新善花火走りよろしく

新善花火走りよろしく

新善花火走りよろしく

新善花火走りよろしく

生

勤め文と 食物あざり文と

出でましり帰らぬ 父をかえせ 母をかえせ。

疎開家屋の材木裏さきに

薄垣から雪桜をうき出され

封筒に入れあけた灰に落つてかえどまだ

とじようをかえせ子供をかえせ。

駄馬がぬけ海うねり東夷かでて

死ぬときめくもながう牛馬とてなく

かりすり死ちわばらうちかづ

ゆきを やしき命をもがえせ。

姐のよしに言ひより いざりざり

うじぬまみれ

故郷の所うちへ頭をむけ腋をうばし

死んです

もうまく云ふし 死神の脚を

がでつけまつともなかつて

はんげんの にんげんをうり

町をかえせ 生をかえせ。

都